

広厳寺寄席無事終了

第8回目となりました広厳寺寄席、三遊亭鳳楽師匠による独演会は十月七日午後五時より七時まで開催されました。参加者三百五十名、古典落語を得意とする師匠ですが、今回は、「勘定板、錦の袈裟、井戸の茶碗」の三席披露してくれました。日本の話芸、落語を二時間たっぷり堪能できました。「笑う門には福来たる」来年(第9回)は十月六日(日)午後五時よりです。どうぞ大勢の方のご来場をお待ちしております。



口瑞應寺だより (恭真)

▼瑞應寺に縁が深い菊池の聖護寺では平成二十五年にご開山大智禅師の六百五十回遠忌・中興開山大心素道老師五十回忌が厳修される。資料によれば「熊本県菊池市班蛇口湖の北東部、標高七百メートルの山腹に禅寺「聖護寺」がある。現在の寺社は昭和十七年村上素道老師が徒手空拳で入山、中興開山されたという。電話もない閑静な寺である。日常の灯りはランプである。太陽光発電装置があり、



聖護寺

外国人の修行時や高齢者参拝時には裸電球を使用することもある。境内には国際禅道場も開設されており、外国人の禅修行にも開放されている。」とある。恭真も二度訪れている。若い内のいろんな経験が後々役立つことになる。瑞應寺の修行も来年春には丸三年、頑張っています。

口梅花だより

十月四日新潟県第四宗務所主催による「梅花流詠歌奉詠大会」が聖籠町文化会館に於いて開催されました。宗務所管内より六百名を超える講員さんが参加し、登壇奉詠が行われました。アトラクションは、浄土真宗の尼僧さんであり、シンガーソングライターの「やなせなな」さんでした。美しい優しい歌声が館内に響き渡り、曹洞宗の御詠歌「まごころにいきる」も歌っていただき、とても素晴らしいものとなりました。感動の中、大会は無事終了しました。



仏事の知識 御朱印帳

寺院を参拝するときや観音札所を巡る際には「御朱印帳」を持参します。お寺のご本尊様にお参りし、各自持参したものに、ご住職から達筆で書かれた墨跡とお寺の印を押してもらいます。御朱印料を納め参拝記念といえます。

御朱印をたくさん持っている人は、やがてあの世で裁きを受けるときは軽くなり、三途の川も楽々渡れるとか。

当寺でも毎年寺院参拝の旅を計画し、大勢参加していただいています。越後三十三観音、秩父観音三十四カ所、最上三十三観音、善光寺御開帳、奈良大和十三仏、永平寺、總持寺、真言宗智積院、各宗問わず有名寺院を参拝しています。寺巡りの旅は、普段の生活から離れて自分の心を耕し、生きている生命の使い方を考える旅です。ご本尊様に手を合わせるることによって功德、御利益が増してまいります。ちなみに御朱印帳は菩提寺様にもお願いしてください。